

3月6日：VN指数は調整圧力に押され下落 (VN-Index -0.57%)

- VN指数は前日終値付近で取引を開始したため、調整を懸念する動きが広まった。
- 取引開始時の小幅な値動きに加えて、多くの銘柄が連続した上昇からの調整を見せた。
- 上昇した銀行セクターといくつかの個別大型株が下落幅を抑えた唯一の銘柄であった。
- 後場ではその力も弱まり下落に転じた。さらにホーチミン証券取引所と証券会社間の接続が切断されたことにより投資家のパニック売りが引き起り、下落に拍車をかけた。
- 引けにかけて動きは安定したが、下落を回復することはできなかった。
- 130銘柄が上昇、356銘柄が下落、67銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は増加し、2.4%増の24.9兆ドンとなった。

VN30指数も調整 (VN-30 -0.71%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、8銘柄が上昇し、18銘柄が下落、4銘柄が変わらずとなった。
- SAB (+4.07%), MSN (+1.59%), GAS (+1.39%), TCB (+1.30%)が上昇し、マーケットを支えた。
- 一方で、VRE (-3.18%), MWG (-2.60%), VPB (-1.77%), VNM (-1.64%), GVR (-2.69%)などの多岐に渡る銘柄が下落した。

セクター・個別株の動き

- HQC (+6.78%) は、新たに1億株を10,000ドンで発行し、5,7兆ドン調達したことが好感され、上値制限まで上昇した。
- HPG (-1.12%)はテト休暇により2月の鉄鋼の売上が落ち込んだことで下落した。

- 外国人投資家は本日、1410億ドルの売り越しだった。VHM (-1.26%)、VIX (-2.09%)が大きく売り越された。一方、NLG (+1.30%)、SSI (-0.80%)、CTG (-0.96%)などが買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。